

「ダブル連結トラック100編成に拡大し、 高度な長距離幹線輸送網を拡大」 ～2024年問題対応、省人化、CO2削減対策を加速～

センコー株式会社(本社:大阪市北区、社長:杉本健司、以下「センコー」)は、
現在関東⇄関西で運行中の8編成、2024年度中部⇄関東で運行予定の6編成に加え
2030年までにダブル連結トラックの導入を加速させ、早期に100編成体制を構築、社会・顧客のニーズに対し
より高度な輸送チャンネルを供給する。(100編成は大型トラック200台に相当)
50編成体制により中継輸送を拡充、浜松に開設予定の中継基地『TSUNAGU STATION』の機能も
活用し、遵法でより高度な長距離幹線輸送を提供する。
又、省人化、CO2削減に対してもダブル連結における効果については、2年間の運行実績から
大きな効果を創出できた実績も踏まえ、更なる拡大により大きな効果を提供していく。
センコーは、今後もダブル連結トラックの拡大を通じ、次世代の長距離幹線輸送を構築していく考えです。

ダブル連結トラック



ダブル連結トラックによる効果

■導入予定分想定効果 省人化 想定効果

単位：時間

省人化	累計台数	ビフォー 年間合計運転時間	アフター 年間合計運転時間	年間合計削減量	削減率
2024年	14台	58,917.7	35,654.4	23,263.3	39.5%
2030年	100台	420,840.6	254,674.2	166,166.4	39.5%

※東京ー大阪間 大型トラック4台をダブル連結バス2編成に換算した場合の効果

■導入予定 想定効果 CO2排出削減 想定効果

単位：t-co2

CO2排出量削減効果	累計台数	ビフォー年間合計排出量	アフター年間合計排出量	年間合計削減量	削減率
2024年	14台	2,866.1	1,937.7	928.5	32.4%
2030年	100台	20,472.4	13,840.4	6,631.9	32.4%

※東京ー大阪間 大型トラック4台をダブル連結バス2編成に換算した場合の効果

中継基地 TSUNAGU STATION

浜松中継基地概要



静岡県浜松市北区都田町(新東名高速道路 浜松SAスマートインターチェンジより約1km)
 名神吹田ICから250km・東名東京ICから230km ➡ 東京・大阪間の中心

STEP.1 トレーラー交換、ドライバー乗り替り用
 約50台分の駐車スペース

2024年8月OPEN!

STEP.2 貨物積み替え、荷捌き・保管用
 約700坪のスペース

2025年2月OPEN!